

あついこころを道政に!

第2回定例会
本会議一般質問



道が不審船対応訓練を年内実施 おおこしあつこが前向き答弁引き出す

6月27日、おおこしあつこが一般質問を行い、昨年11月に松前町の松前小島に北朝鮮の木造船が漂着した事件への対応をただし、道は不審船への初動対応訓練を年内にも実施する方針を明らかにする答弁を引き出しました。

また、6月5日の総合政策委員会では、「北海道150年事業として、道内の経済・社会・文化などの分野で大きな功績があつた方々を功労者として顕彰するべきだ」とのおおこしあつこの提言に対し、道幹部から前向きな答弁を引き出しました。

1. 拉致等の北朝鮮問題について
2. 食品ロス対策について
3. 知的財産の保護について
4. アルコール健康障害対策について
5. 再犯防止対策の推進について
6. 女性活躍社会の推進について



「自然保育」の取り組みを調査

おおこしあつこが所属する道議会少子・高齢社会対策特別委員会は5月29、30日、富山・長野県を訪れ、高齢者、障がい者など、支援を必要とする方を地域で支え合う富山型デイサービス、屋外活動に重点を置き、感性豊かな子供を育てる「信州やまほいく」を視察しました。



「道産子選手たたえる会」を開催

平昌オリンピックに出場した道内選手43人の活躍を祝う「感動をありがとう! どさんこ選手をたたえる会」が5月6日、道庁前にて盛大に開催されました。金メダルを獲得した高木姉妹、佐藤綾乃選手には道民栄誉賞が贈られ、市民から大きな声援が送されました。



▲祝賀会では高木美帆選手を激励しました

道政報告会を開催中!

豊平区内8カ所で本年度内をめどに、おおこしあつこの道政報告会を開催いたします。6月に開いた豊平、月寒地区の報告会では、たくさんの方々にお集まりいただきました。今後も各地区で開催しますので、お近くの方はぜひお立ち寄りください。



札大で北海道の未来を語る

5月18日、札幌大学で北海道の未来を担う若者たちを前に、授業の講師を務めました。人口減少が進む道政の現状や課題、女性参画の推進、北海道150年事業などを中心にお話しました。



北海道には人口減少をはじめ、多くの課題が山積していますが、おおこしあつこは、笑顔あふれる元気な北海道をつくるため、皆さまの声をしっかりと受け止め、全力で取り組んでいきます。



おおこしあつこ 3年間の実績

子供の貧困対策に全力! 「居場所づくりの手引き」 が完成

おおこしの議会質問がもとで、子ども食堂や学習の場などの運営のポイントをまとめた「居場所づくりの手引き」が作成されました。支援の輪がさらに広がるよう取り組んでいきます。

▶子ども食堂の衛生管理やアレルギー対策などの情報についても詳しく記載



北海道

食品ロス「食べ残しぜロ運動」 を推進

食べ残しなどの食品ロスを減らすため、おおこしが議会質問に取り上げるなど、先頭に立って「どさんこ愛食べきり運動」を推進しています。

▶3~5歳児を対象に幼児向け絵本も作成。道のホームページで読むことができます



中学生向け道徳教材への 「志村鉄一氏」掲載が実現!



▲札幌の発展に尽力した志村鉄一氏の半生が掲載されました

おおこしの強い要望により、道教委が作成した北海道ゆかりの偉人を題材にした道徳教材「きたものがたり」(中学校用)に、札幌開祖として豊平区の皆さんに親しまれている志村鉄一氏が掲載されました。



北海道認定



「ヘルシーDo」で 道民の健康を 後押し

おおこしの要請により道独自の食品機能性表示制度「ヘルシーDo」の検査体制が強化され、認定商品が大幅に増加。ドラッグストアでの商品の取り扱いも実現しました。

▶ヘルシーDo認証マークとロゴ

ハラル対応で食品輸出拡大 への取り組み強化

道産食品への輸出拡大に向け、イスラム教の戒律に沿った「ハラル対応」を強化すべきとのおおこしの質問がきっかけで、中東ドバイでの道産牛試食会が行われました。

▶輸出拡大を目指して各国の食事情を調査



避難所ゲーム「Doはぐ」で 防災教育を推進

おおこしの提案により、真冬に直下型地震が発生したという想定に沿って課題を解決していく避難所運営カードゲーム「Doはぐ」の増刷が決まり、学校現場での防災教育に役立てられています。

▶カードを使って避難所の暮らしを疑似体験できる「Doはぐ」

